

---

# あの丘で待っていて

神崎月夜

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

あの丘で待っていて

### 【Nコード】

N0712F

### 【作者名】

神崎月夜

### 【あらすじ】

戦争にとられた恋人を、健気に待ち続ける女性、レイラのお話です。

今日も朝日が昇る。

朝日が街を照らす。

朝日が照らした丘の上、今日もレイラは待っている。

愛しい人を待っている。

「どうして待つのか？」レイラに訊いた。

「約束したから……」

レイラは言った。

「だって、あの人は約束を破らないもん。」レイラは私にそう言っていると、丘から見える海を眺めた。

「ねえレイラ……」

私はレイラの背中に言った。

「新しい恋見つけなよ。帰って来ないあいつより、新しい恋探さない？」それを聞いたレイラは、私のほうに振り返り、怒っているような、悲しんでいるような顔で私に言った。

「そんなこと……出来ないよ！私、約束したのよ、待ってるって！ずっと、待ってるって……」

「……ごめん」

泣き出したレイラに、かけていい言葉が見つからなかった。謝るしか出来なかった。

「……いいの。それが正しいのかも知れない。けど……やっぱりわたし待ちたいの。」

レイラは私に微笑んだ。

「そう。じゃあ待っててあげて。」

私もレイラに微笑んだ。

じゃあまたね。そういつて、私は街に帰った。レイラが一人丘に残る。

それは今から少し前のこと。戦争が始まった。レイラの婚約者であったエルンストも、騎士であったため、戦争に連れて行かれた。明るいマーチ、軍の行進。人々は明るく兵士達を送り出す。しかし、レイラは明るくなれなかった。ただ一人で泣いていた。

出発の前、エルンストは言った。「レイラ、あの丘で待っていてくれないか？俺たちが出会ったあの丘で。俺、帰ってきたら、すぐ行くから。」その言葉を信じ、レイラはあの丘で待っている。彼の帰りをひたすら信じて。

やがて戦争が終わり、ほとんどの騎士達が帰ってきた。しかし、そのなかをいくら探しても、エルンストの姿は見えなかった。レイラは何度もエルンストを探した。しかし結果は同じだった。

死んだという話は聞かない。彼は生きているはず…そうして待ち続け、1ヶ月がたった。

……街に走る人影があった。彼はひたすら走る彼は、信念を秘めた目をしていた。

そして丘をかけ上がる。レイラの丘をかけ上がる。  
そして叫ぶ。

レイラ！！

声を聞いて振り返ると、そこには…

そこには、愛しい人がいた。愛しい人は、レイラのもとへ。だからレイラは駆け寄った。愛しい人のもとへ…

彼はレイラを抱きしめた。

もうどこにも行きはしない。もうその手を放さない。レイラ！愛しい人…

沈みゆく太陽は、ただただ静かに、何も言わず、二人の姿を見守っていた……

（後書き）

私はずっと後書きというものが書きたかったのです。

吹奏楽関係者は気付いたかも知れませんが、これは吹奏楽の曲からヒントを得て書きました。その曲を知っている方は、その曲の雰囲気

が少しでも感じられたら嬉しいです。

それでは、気が向いたらまた書きます。  
コメントを下さったら嬉しいです！

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n0712f/>

---

あの丘で待っていて

2010年10月13日22時07分発行